

緑化だより

No.132 平成29年10月号



キッコウハグマ

- 季節の花(ク)
- 小さな世界こけ(コケでないコケ)
- 昆虫の話(襲撃者)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ryokka 巧字の本

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

クリ

「瓜食めば 子ども思ほゆ 栗食めばまして偲はゆ いくより来しものぞ
眼交(まなかいひ)にもとなかかり て 安寐(やすい)し寝(な)さぬ」

山上憶良 万葉集 5:0802

(瓜を食べれば子どものことを 思い出す。栗を食べればいっそう子供の顔が思いだされ 愛おしい。子どもとは どこからやってきたのだろう。子どものことが目の前に浮かんで、 なかなか寝付けないなあ)

山上憶良は奈良時代(729年)に筑前(福岡県)の地方官を勤めていました。憶良は子どもが大好きで、子どものことをいつも思っていました。この歌は憶良が六十歳代半ばの作です。子どもに、対する愛情にみちた歌です。憶良は男女の愛の歌よりも、子供を思う歌が得意でした。

クリはブナ科の植物で、北海道(西南部)、本州、四国、九州の山地に分布しています。落葉高木で雌雄同株です。高さは15~17mになります。花は6月ごろ咲きます。けもの尻尾のような白い花穂で、ほとんどが雄花です。その基部に、雌花が数個つきます。雄花の香りは特殊なおいがあり、虫で花粉が運ばれます。葉は互生で、葉の周りは針状の鋸歯があり、先まで葉緑体があり、緑色をしています。よく似たクヌギの葉の鋸歯は緑色ではなく、透明です。果実はその年の秋に熟します。成熟すると4つに割れて3個の実が入っています。クリの材は湿気に強く、古くから住宅の土台、家具、建築材に使われています。資源が豊かな頃は鉄道の枕木に利用されましたが、今では貴重品です。

クリの実には料理、お菓子に重宝され、葉は「青搔敷き」(あおかいしき)といわれ、日本料理の季節の彩りとして使われます。これらは抗菌、殺菌、防臭の効果があります。

クリは実を収穫するために、よく栽培されていますが、山野に自生しているものはシバグリと呼ばれて重宝しています。緑化センターの園内にも見られます。(上村)



クリの花



シバグリの実

小さな世界こけ

コケでないコケ

樹木や岩や湿った土の上に生えている小さな植物には、〇〇コケと名前がついているものがあります。〇〇ゴケとついているからコケの仲間だと思われませんが、種子植物やシダ類、あるいは地衣類のことがあります。

種子植物では、まずモウセンゴケがあります。湿地に生える多年草で、食虫植物としておなじみです。アワゴケは日陰で



モウセンゴケ

湿り気のあるところに生える小さな1年草です。しばしばコケと同じところに生えているため、コケの仲間と勘違いしてしまいます。田んぼのあぜや芝地などで見られるムラサキサギゴケはゴマノハグサ科の多年草です。

シダ植物のコウヤコケシノブやウチワゴケは、薄暗い日陰で、湿り気のある岩の上に群落を作ります。クラマゴケは湿り気のある土に生え、コケの仲間のコツボゴケと似ています。

地衣類には古い木の幹に海藻のようについているウメノキゴケ、朽ちて乾燥した木や岩の上に見られるコアカミゴケ、石の表面に膜のようについているヘリトリゴケなどがあります。地衣類は体の中に藻類と菌類が共生しているのが特徴です。

コケと他の植物との違いは、コケには水を吸い上げるための根と維管束がないことです。(山根)



ウチワゴケ



コアカミゴケ

昆虫の話

襲撃者

秋といえば、果物狩りやキノコ狩り、紅葉狩りに山登りなど人々が自然に親しむイベントも目白押しです。こんな素晴らしい季節によく聞かれるのが「ハチに襲われた」といったニュースです。たいてい、襲ってきたハチは「オオスズメバチ」という種類です。このハチに刺されると、命を落とすこともある怖い虫です。

オオスズメバチは、体長4cmにもなる日本で最大級のハチです。また、毒が強く、刺されると腫れて熱を持ち、強烈に痛みます。さらに、ハチ毒に対して強いアレルギー反応(アナフィラキシーショック)を起こすと、じん麻疹や全身の浮腫、急激な血圧低下などをおこし、それが原因で呼吸困難や心停止となり、たった15分ほどで死に至ることがあるほどです。



オオスズメバチ

多くの人は、ハチが怖い虫だと知り、気をつけています。それなのになぜ、オオスズメバチに襲われるのでしょうか。それは巣が「見えない」事が一番の原因です。彼らの巣は「地中」にあるのです。彼らは木の根元の空間などに穴を掘り、木の繊維で壁を作って、巨大な地下要塞を作るのです。この地下の巣に気がつかず、近づきすぎた事が襲われる主な原因なのです。彼らが目の前をブンブン、カチカチと音を立てて飛ぶようなら、ただちにゆっくり後ろに逃げましょう。すでに彼らの巣の近くです。

この凶暴なハチにも、巣を襲って御馳走にする天敵がいます。お腹を空かせた巨大なクマや蜂の巣ばかりをおそって食べる変な鷹のハチクマ、ほかの巣からくるスズメバチの大群、そして、現在ではほとんど廃れてしまった文化ですが、人間も彼らの巣をとって食べてしまう天敵だったのです。

襲ってきたスズメバチからすると、巣に近づく人間は立派な「襲撃者」ということなのです。彼らの「正当防衛」を受けないよう、地面に注意して秋の自然を楽しみたいものです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| <p>○10月 9日(月・祝) 『秋のきのこ教室』 園内で採集したきのこの名前と食毒を知ろう ※自由参加・無料 採集用カゴ持参</p> | <p>10:00～14:00 第3駐車場 集合 講師：きのこアドバイザー 川上 嘉章</p> |
| <p>○10月 15日(日) 『10月の自然探勝』 実の行方 ※自由参加・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合 講師：NHK文化センターアシスタント 上村 恭子</p> |
| <p>○10月 22日(日) 『秋のハイキング』 秋の三本木山を歩こう ※自由参加・無料</p> | <p>10:00～12:00 管理事務所前 集合 講師：環境カウンセラー自然観察指導員 和田 秀次</p> |
| <p>○10月 29日(日) 『どんぐりクッキング』 ※要予約(キャンセル待ち)・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合 講師：日本シェアリングネイチャー協会 トレーナー 住吉 和子</p> |
| <p>○10月 29日(日) 『マツの手入れ 秋』 マツのもみあげ実習 ※要予約(キャンセル待ち)・無料</p> | <p>13:00～15:00 学習室 集合 講師：NPO法人「樹木医ひろしま」 工藤 徹</p> |

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・つづらふじ手作りカゴ作品展

～11月11日(土)

(ボード展示)

・ボタニカルアート アーティスト作品展

9月13日(水)～10月15日(日)

場所:学習展示館

・緑化センターの四季写真展



つづらふじ手作りカゴ作品展より

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

・10・11月は休園日なし

・“秋のおでかけキャンペーン” ～11月12日(日)

隣接する市森林公園を巡るスタンプラリー

両園でスタンプを押して景品ゲット!

さらに抽選で“お楽しみ袋”プレゼント

・もみじ祭り 10月28日(土)～11月19日(日)

園内5カ所でクイズに答えて景品ゲット!

・お楽しみイベント 11月3日(金・祝), 12日(日)

場所:レストハウス周辺

ネイチャーゲーム、クラフト、落ち葉のプールなど



～森林公園イベント情報～

・『森のミニ運動会』

10月8日(日), 9日(月・祝) 10:00～14:00 中央広場

当日先着200人 幼児～小学生対象

・『ハロウィーンパレード&コスチュームをつくろう』

10月28日(土), 29日(日) 9:30～15:00 芝生広場・休憩所

当日先着受付 どなたでも